

大勢の人が訪れ賑わいを見せる 夷王山まつり行われる

6月16日、17日、夷王山神社の例祭に合わせ夷王山まつり（上ノ国町観光協会主催）が開催され、2500人が訪れました。

16日の神社の宵宮祭には、たいまつ行列が行われ、空手、柔道、剣道少年団のほか、一般参加による小中学生が上ノ国八幡宮から夷王山神社に続く山道をたいまつを持ちながら登りました。

17日の本祭では、「南北北海道歌謡大会」や「クイズラリー」などの催しが行われ、「道南地区ばん馬大会」には、三浦清人さん（宮越）が生産した「キヨノハヤブサ号」など、ばんえい競馬所属の競走馬や道内各地の愛好家が育てた馬約40頭が参戦。激しい息遣いとともに坂を登る姿に歓声が沸いていたほか、乗馬体験も行われました。

メインイベントの「歌謡まつり」にはキングレコード所属の原田悠里さんが出演し、「木曽路の女」などの楽曲を披露したほか、途中でステージを降りて握手や記念撮影するなど、訪れた方と触れ合っていました。



客席の中で歌う原田悠里さん



南北北海道歌謡大会入賞者



声援を背に坂を登るばん馬



キヨノハヤブサ号に
またがり記念撮影

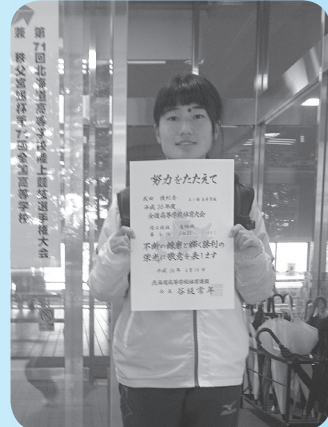


奉納される神楽舞



たいまつ行列

武田優紀香さん インターハイ出場決定



6月12日から15日にかけて札幌市で開催された第71回北海道高等学校陸上競技選手権大会女子走り幅跳びで、上ノ国高校3年の武田優紀香さんが6位入賞し、8月1日に三重県で開催する全国高等学校総合体育大会（インターハイ）への出場を決めました。

5月の函館支部大会を2位となり全道大会に臨んだ武田さんは、予選を全体の9番目で突破。決勝で5.55を記録し、インターハイへの切符を掴み取りました。

6月19日に役場を表敬訪問した武田さんは、「全国大会では自己ベストの5.70を更新できるよう精一杯頑張りたい」と抱負を語ります。全国大会での大きな飛躍が期待されます。

思いやりの心を育てるため 町内小学生に人権の花が贈られる

6月7日、生命の大切さと思いやりなど基本的人権を身につけてもらうと函館地方方法務局と函館人権擁護委員連合会から「人権の花」が河北小学校の児童に寄贈されました。

この日は、人権擁護委員の澤谷敦さん（字大留）と人権イメージキャラクター「KEN」が河北小学校を訪れ、マリィーゴードとサルビア合計70株を児童に手渡しました。児童を代表して松田陸くんが「きれいな花をありがとうございました」とお礼を述べたあと、早速、学校の花壇へ移植していました。

なお、「人権の花」は、上ノ国、滝沢小学校児童にも贈られています。

